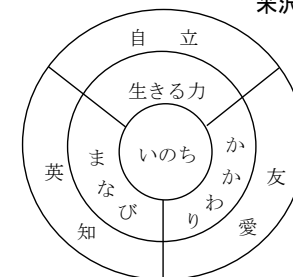


第五次山形県教育振興計画後期プランに基づく「いのちの教育」推進基本構想図

平成26年度

米沢市立第二中学校

- ◎ 学校教育目標 「広い視野に立ち主体的に行動する生徒」
- ◎ めざす生徒像
 - (1) 考える人 まなび (英知) 知
 - (2) 思いやりのある人 かかわり (友愛) 徳
 - (3) やり遂げる人 生きる力 (自立) 体



広い視野に立ち主体的に行動する生徒の育成

五教振のめざす「いのち」の教育	知・徳・体が調和し、「いのち輝く人間」の育成(いのちに込められた2つの意味・かけがえない「生命」・人間としての生き方)「いのち」を大切に、豊かな心と健やかな体をつくる
-----------------	---

いのちの教育の3つの柱	① 自分を大切に思える気持ち(自尊感情)を育てる ② 「いのち」のつながりの多様性に気づかせる ③ 「いのちの尊さ」と人間としての「生き方」をしっかりと教える
-------------	--

いのちの教育学年別テーマ	1年 「いのちの教育」を通して 自分を知る、見つめる	2年 「いのちの教育」を通して 自分を伸ばす、他を思いやる	3年 「いのちの教育」を通して 他との共生、未来を志向する
--------------	-------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

各教科	道徳・特別活動	総合的な学習	その他の時間	家庭(教育会)との連携	地域・関係機関との連携
生徒指導の三機能を生かし、各教科ごと、次の内容・視点による「いのちの教育」の推進 【内容】 ・人間尊重・男女平等(社会) ・動植物の体のつくり 動物の生殖(理科) ・生命の誕生 幼児とのふれあい(家庭) ・思春期の心と体 健全な異性観(保健・性教育) ・体力・運動能力の向上 安全への啓蒙(体育)	・全体計画に基づく共生の心を育む道徳教育 ・道徳における重点項目設定・実践による「いのちの教育」の推進 (畏敬の念・自然愛護、生命の尊重、生きる喜び、家族愛、異性理解、思いやり) ・「ふるさと米沢の心」を活用した道徳の推進 ・学活におけるグループ・エンカウンターによる温かな人間関係づくり ・主体的表現活動(合唱・演劇・弁論・群読・応援等)の日常実践 ・年間を通しての朝読書実施による全校一斉の読書活動の推進	・キャリア教育「米沢チャレンジウィーク」の実践的推進 ・地域の自然・人・文化等に学ぶ「米沢学」の推進 ・愛郷心を育む地域行事への主体的かかわりを持った参加・活動(雪灯籠製作・上杉祭り参加等) ・国際理解教育の推進 ・生徒会によるリサイクル活動の展開(プルタブ・牛乳パック ペットボトルキャップ)	・全校朝会・学年朝会・HR等におけるいのちに関わる講話 ・教育相談・カウンセリング・いじめ防止委員会の定期的開催による生徒理解 ・学校生活における安全指導・交通安全指導・非常災害に備えた訓練の実施 ・一日運動会実施による兄弟学級の団結力・絆の深まりと全校生徒の志気の高揚 ・すくすくファームでの農作物栽培と学校給食を基盤とした食育の推進	・基本的生活習慣の確立(あいさつ・生活リズム・食事等) ・教育会活動スローガンの推進 ともに夢を抱き、ともに夢を追いともに学び成長出来る活動 ・一家団楽(場・時間・話題の共有)による心の安定 ・祖先・家族の生きる姿と知恵に学ぶ ・教育会セーフティボランティアと育成部交通立哨指導による安全確保と安全意識の高揚	・小学校との連携による個に応じた指導 ・各種施設を活用した教科学習の深化・発展(上杉博物館・幼児施設等) ・米沢養護学校との交流教育の継続的実践 ・地域における勤労体験を通してのボランティア活動 ・関係機関によるネット携帯研修会・薬物乱用防止教室・防煙・性教育講話の実施

教職員の個性と生きがいの輝く学校 (優れた教職員 ・ 学び続ける主体 ・ 共感と洞察力 ・ 学校・地域づくりの主体)

- ・ 服務規律の厳正—教育公務員としての自覚
- ・ 学校経営参画意識の高揚
- ・ 豊かな人間性、専門的な知識技術
- ・ 共感的理解と客観的理解
- ・ 教職員の連携と協働体制
- ・ 幅広い教養、実践的指導力
- ・ 保護者との連携
- ・ 地域行事への主体的参加